

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年12月7日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年12月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【建屋内淡水化設備(B)の逆浸透膜装置からの漏えいについて】 建屋内淡水化装置(B)逆浸透膜装置から系統水の漏えいを確認。漏えいは設備の受けパン内に留まっており、建屋外への流出なし。 修理を実施する。	G III
2	【既設多核種除去設備吸着塔(6A)の漏えい検出器用継電器の動作不良について】 電源停止時において既設多核種除去設備吸着塔(6A)入口PH系ラック漏えい検出器の電源喪失を示す警報が発生するが、電源復旧後において警報がリセットしなかった。 なお、漏えい検出回路の異常なしを確認。監視に影響なし。 漏えい検出器用継電器の動作不良が考えられるため、継電器を交換する。	G III
3	【雑固体廃棄物焼却設備の火災報知設備の不具合について】 雑固体廃棄物焼却設備の火災報知設備で、設備異常を示す「種別異常」警報が発生。 また、「種別異常」警報が発生した感知器においては配置図上に登録されていないこと、自動火災報知設備受信機盤の時計においては時間のずれを確認。 原因を調査する。	G III